

審議会会議録

1	会議の名称	令和6年度第5回富津市子ども・子育て会議
2	開催日時	令和7年2月7日（金） 午後1時30分～午後2時42分
3	開催場所	富津市役所2階 第3委員会室
4	審議等事項	議題 （1）富津市こども計画（案）について （2）富津市市立保育所再配置計画の改定骨子（案）について
5	出席者名	○出席委員 牧野千恵、齋藤みゆき、榎本有実、上原絢子、鈴木真志、渡瀬栄一、宮原俊一、高林めぐみ、木村望、今井常夫、オノミチ三由紀、棟方淳子、宗政朱利、宮崎晴幸、川島壱朗 ○事務局 小野田健康福祉部長、吉原こども家庭課長、網代こども家庭課長補佐、飛澤家庭相談係長、鳥海主任主事、高橋主事、田内保育課長、渡辺保育係長、國吉施設管理係長、圓川健康づくり課主査、菰田学校教育課指導主事
6	公開又は非公開の別	公開 ・ 一部非公開 ・ 非公開
7	非公開の理由	
8	傍聴人数	3人（定員5人）
9	所管課	健康福祉部こども家庭課子育て支援係 電話 0439-80-1256
10	会議録（発言の内容）	別紙のとおり

令和6年度第5回富津市子ども・子育て会議 会議録

発言者	発言内容
事務局 (高橋主事)	皆様、こんにちは。 本日は、ご多用のところお集まりいただき、誠にありがとうございます。 会議の進行を務めさせていただきます、健康福祉部こども家庭課の高橋と申します。よろしくお願いいたします。 開会に先立ちまして、資料の確認をさせていただきます。 本日机上には、会議次第、席次表、資料4「事前に出された意見と市の考え方」、「富津市子育て応援ガイドブック」をお配りしております。 また、事前に、資料1「富津市こども計画（案）やさしい版」、資料2「富津市こども計画（案）」、資料3「富津市市立保育所再配置計画の改定骨子（案）」、参考資料「富津市こども計画書（案）修正箇所」をお送りしております。 以上が本日の会議資料でございますが、お揃いでしょうか。 続きまして、本日の委員の出席状況を報告させていただきます。15名の委員の全員が出席されておりますので、富津市子ども・子育て会議設置条例第6条第2項の規定により、会議が成立しておりますことを、ご報告いたします。 続きまして、会議の公開についてご説明いたします。富津市情報公開条例第23条の規定により、会議を公開することとなっております。 なお、本日傍聴人は3名でございます。 また、会議録作成のため、会議の内容を録音させていただきますので、ご了承くださいるようお願いいたします。 続きまして、ご発言の際の注意事項を申し上げます。皆様の前にありますマイクにつきましては、緑色のスイッチを押してからご発言いただきます。ご発言の際は、恐れ入りますが挙手の上、議長からの指名後、ご発言いただきますようお願いいたします。

発言者	発言内容
議長 (宮崎会長)	また、前回会議に引き続き、オブザーバーとして、計画策定業務を委託しております株式会社ぎょうせいの楠本様が同席しておりますので、ご承知おきください。 ＜次第１ 開会＞ それでは、ただ今から、令和６年度第５回富津市子ども・子育て会議を開会いたします。 はじめに、宮崎会長からご挨拶を頂戴したいと存じます。 ＜次第２ 会長挨拶＞ 皆さんこんにちは。マイクの関係上、着座にて失礼いたします。 委員の皆様におかれましては、お忙しい中、本日お集まりいただきまして誠にありがとうございます。 今回は、前回の第４回会議から修正された「富津市こども計画（案）」が議題とされております。それを皆様によく見ていただき、全員の賛成をもって、本日の会議が終わりますようお願い申し上げまして、私からの挨拶に代えさせていただきます。よろしくお願いいたします。
事務局 (高橋主事)	ありがとうございました。 ここからは、宮崎会長に議事の進行をお願いいたします。
議長 (宮崎会長)	＜次第３ 会議録署名人の指名＞ それでは、議長を務めさせていただきます。 議事に入る前に、本日の会議録署名人の指名を行います。議長のほか、慣例により委員からお一人お願いしておりますので、今回はオノミチ委員をお願いしたいと存じます。よろ

発言者	発言内容
事務局 (網代こども家庭課 長補佐)	しくお願いいたします。 ＜次第４ 議題（１）＞ それでは、次第４の議題に入ります。 議題（１）「富津市こども計画（案）について」を議題といたします。事務局の説明を求めます。 それでは、議題（１）富津市こども計画（案）についてご説明を申し上げます。 前回の第４回会議において、いただきましたご意見を参考に、計画書の修正と追加資料の作成を行いましたので、ご説明させていただきます。 初めに、資料１「富津市こども計画（案）やさしい版」をご覧ください。こちらは、子育て当事者をはじめとする市民の皆様「富津市こども計画」に興味を持っていただけるように、また、施策の当事者であるこどもにも理解しやすい形で概要をまとめ、作成をいたしました。「富津市こども計画（案）」の本編につきましては、市の子ども施策に係る市の姿勢を示す指針となる総合的な計画書となり、難しい表現や行政用語の全てを平易な表現にすることは難しいと判断したことから、このような形で作成したものでございます。 １ページ目をご覧ください。 こども計画の説明とこども計画の策定方針を簡単にまとめております。 続きまして、２ページから３ページをご覧ください。 こちらには、６月に実施しましたこども・若者向けのアンケートの結果のうち、こども・若者がどんなサービスを求めているかの結果、どんな悩みがあるか、市へ意見を伝えたいかの３つの設問の結果を掲載しております。この３つの設問

発言者	発言内容
	を選定した理由につきましては、こども・若者が何を求めているのか、どんなニーズがあるかがわかりやすい設問であることから選定をしております。 続いて、4 ページ目から 6 ページ目をご覧ください。 こちらには、アンケート結果をフィードバックし、市がどのような取組を行っていくか、実際にどのような取組があるかを掲載しております。 続きまして、7 ページをご覧ください。 こちらには、富津市の現状と課題といたしまして、富津市の人口、こども、若者の人数、また、児童虐待の件数等を掲載しております。 続いて、8 ページから 11 ページをご覧ください。 こちらには、富津市こども計画の基本理念、なぜこの基本理念としたか、基本視点、施策内容について、計画書本編と表現を変え、わかりやすくなるように掲載しております。 最後に 12 ページをご覧ください。 こちらには、計画書本編への案内と「富津市子育て応援ガイドブック」への案内を掲載しております。更に詳しく計画や市の取組を知りたい方は、こちらからアクセスしていただくといった形としております。 ここで、「富津市子育て応援ガイドブック」について、ご説明をさせていただきます。本日机上配付させていただきました「富津市子育て応援ガイドブック」をご覧ください。 こちらは、富津市の子育て支援の取り組みをまとめた 1 冊となっております。こういった施策、取組を行っているのみならず、イベント情報やおむつ替えや授乳設備、児童遊園地、こどもの遊び場が掲載されたおでかけマップ、市内及び一部市外医療機関の一覧、教育・保育施設一覧、放課後児童クラブ一覧等も掲載しております。

発言者	発言内容
	こちらのガイドブックにつきましては、1月末に完成をいたしましたので、今後順次市内各所へ配付する予定でございます。また、ガイドブックのPDFデータや電子版のガイドブックにつきましても、更新作業が終わり次第、ホームページに掲載をいたします。 次に、資料2「富津市こども計画（案）」をご覧ください。 計画書本編につきましても、前回お示しをしました案から一部追記及び修正を行っております。なお、追記箇所等の一部を除き網掛けで示しております。 1点目ではありますが、計画書にサブタイトルを追加したいと考えております。事前に送付いたしました資料において、サブタイトル案を事務局の方から2案お示しをさせていただきましたが、その案から、委員の皆様の多数決の結果にて、サブタイトルを決定させていただければと考えております。 案1につきましては、「こどもの笑顔、子育ての喜びがあふれるまちを目指して」であります。案2につきましては、「次代を担うこどもを笑顔に」としております。 また、表紙のデザインにつきましても、変更を予定しております。表紙のデザインにつきましては、現在作成中でありますので、次回会議にてお示しさせていただきたいと思っております。 なお、やさしい版と本編で副題を変えております。こちらについては、やさしい版はこども計画をわかりやすく周知するという目的の他に、多くのこどもたちに、この計画がこどもたち中心のものであるということをわかってもらうため、やさしい版では、この計画の中心は、こども、若者であるということを直接的に伝えられるようなサブタイトルをつけ、本編においては、基本理念に則った案を提示しております。 2点目、表紙をおめくりいただき、計画書の巻頭ページに、

発言者	発言内容
	富津市こども計画の概要を追加しております。 それから、3点目、計画書3ページ目をご覧ください。持続可能な開発目標、SDGsとの関連について追加しております。 4点目であります。計画書の69ページ以降の第5章につきまして、施策内容の表現を親しみやすくするとともに、各基本施策の冒頭の説明の一部に、今年度6月に実施しましたアンケート結果等の補足を追加しております。 また、83ページをご覧ください。 83ページに【2-23 市立保育所施設整備事業】を新たに追加しました。 なお、施策項目の掲載順序につきましては、前回の会議において、「各基本施策の最初に掲載されている事業が一番重要な施策であるように見える。」とのご意見をいただいております。これら掲載している事業につきましては、掲載順に重要であるということではございません。しかしながら、そのようなご意見をいただいておりますので、掲載順序を見直し、施策の内容が類似するもの、実施する事業の対象者なるべく同じになるように分類をいたしました。 また、市民の皆様に対する施策内容のより詳細な内容については、「富津市子育て応援ガイドブック」にて周知する他に、広報紙やホームページ等にて、適宜周知してまいります。 5点目でございます。「市が実施している施策、特にこども、若者のための居場所が不足しているのではないか。」といったご意見を頂戴いたしました。こちらについては、計画書の68ページをご覧ください。4-10におきまして「こども・若者の居場所づくりや保護者が過ごしやすい環境の整備」という項目を追加し、計画期間中のこども、若者の居場所の確保に努めること、既存施設や今後改修等する公共施設にこど

発言者	発言内容
	もや保護者が過ごしやすい施設に向けた環境整備に努めることを記載しております。 市の財政的な状況から、施設の新設等については厳しい状況ではありますが、既存の公共施設の活用等を図り、関係者の皆様と連携を図りながら、財政的な負担を抑えられる方法を模索し、新たなこどもための居場所の確立を検討してまいります。同時に、オンラインでの相談窓口の設置等も検討し、ソフト面での居場所づくりにも努めてまいりたいと考えております。 また、今回お示しした計画書に記載の無い施策についても、市として最大限にこども・若者、子育て当事者に対する支援を行えるように、新たな施策の検討や実施中の施策の拡充に努めてまいります。計画期間中に、新たな施策や現在の施策の拡充等が行われた際や見通しが立った際は、中間年の見直しの際にて、計画への追加等を行います。 市民の皆様がどういったものを求めているか把握に努め、必要に応じて現在実施中の施策等の見直しも図りながら、こども、若者が富津市に生まれ育ってよかった、子育て当事者が富津市で子育てしていてよかったと思えてもらえるまちづくりを進めてまいります。 現在新たな施策といたしましては、計画書の 93 ページにありますとおり、5-11 保育所等の保育料の負担軽減、5-14 放課後児童クラブの保育料補助の拡大について、検討を行っております。こちらは、昨年 3 月のニーズ調査にて、今後希望する子育て支援サービスの設問において、保育料の軽減の充実、子どもの就学に係る費用の軽減の充実が最も多い回答であったことを踏まえ、検討しているものでございます。施策の方向性等が決まり次第、市民の皆様へ周知を行ってまいります。

発言者	発言内容
	以上で、富津こども計画案についての説明を終わらせていただきますが、再度計画案をご審議いただき、ご了承いただきましたら、2月中旬から約1か月間パブリックコメントを実施したいと考えております。パブリックコメントの実施にあたりましては、「富津市こども計画（案）」、添付資料といたしまして「富津市こども計画（案）やさしい版」を併せてお示しする予定でございます。これら計画（案）等の公表については、市ホームページへの掲載、こども家庭課、本庁1階行政資料コーナー、市民会館での閲覧にて行います。併せまして、子ども・子育て当事者への周知を図るため、市内教育・保育施設にも、パブリックコメントを実施していることの周知を依頼する予定でございます。 ここで、「事前に出された意見と市の考え方」についてご説明をさせていただきます。机上に配付をいたしました資料4をご覧ください。 読み上げる形で失礼いたします。まず、資料1「富津市こども計画（案）やさしい版」に対するご意見等といたしまして、高林委員の方からご意見を頂戴しております。内容について読み上げます。「とてもいいと思いました。自分達の意見や思いに大人が耳を傾けてくれたこと、富津市役所として色々取り組んで行こうと思っているということが、子ども達に伝わるのではないのでしょうか。また、子育て応援ガイドブックも最新版を作成中とのことですので、富津市の様々な取組を知ってもらえる機会になると思います。どこまで配布の対象になるのかわかりませんが、せっかくここまでの冊子が出来るのであれば、子ども達（アンケートに答えてくれた小中学生）に直接、行政が簡単な説明が出来る機会が持てたら、もっと興味、関心を持ってもらえるのかなと思いました。各学校のマスコットキャラクターを入れたのもステキなアイデ

発言者	発言内容
	アだと思います。」とご意見をいただいております。 市の考えでありますが、「ご評価いただき、ありがとうございます。計画書については、市内小中学校、保育施設等に配布する他に、アンケートの対象者であった市内小中学校に在学する小学5年生、中学2年生の児童生徒にやさしい版の配布を予定しております。また、市内に在住する区域外通学をしている小学5年生、中学2年生及び高校2年生の方には、ハガキ等にて計画を策定したことをお知らせすることを検討しております。子育て応援ガイドブックにつきましては、すでに市内教育・保育施設等を経由して、保護者の方へ配布しております。また、妊娠の届け出をした方などにも配布いたします。電子版の子育て応援ガイドブックも用意しておりますので、そちらの周知も図ってまいります。」 続いて2ページをお願いいたします。 榎本委員から意見をいただいております。「とても分かりやすく、カラフルで手に取りやすい内容でした。ふりがなが振ってあるため、5歳の息子が音読し一緒に読み解きながら、富津市が子ども達のために取り組んでくれている事を共有することができました。基本理念・視点はこの先長い間、富津市に住む子ども・若者たちが心に刻んでおけるよう、幼保育園や小中学校で伝達や掲示などしていけるとよいと思いました。作成ありがとうございました。」ということであります。 市の考えは、「やさしい版は、こどもたちにも富津市こども計画を知ってもらうことを意識し、作成しました。今回、お子様と一緒に読み解いていただけたことは、やさしい版の周知を進めることで、市民の皆さんに計画を認知していただくことを期待できるのではと考えております。計画書については、先述しましたとおり、各施設やアンケートにご協力いただいたこどもたちに配布予定です。計画の基本理念・基本

発言者	発言内容
	視点は勿論のこと、こども施策を広く周知してまいります。」 続いて、齋藤委員から頂戴しております。「富津市こども計画やさしい版、親しみがあり、わかりやすくとても良いと思います！読んでいて、もっと色々なことを知りたいなという気持ちになりました。そして最後のページの二次元コードを開いて、もっともっと見てみたいという興味関心が持てる資料でした。」といただいております。 続きまして３ページの「富津市こども計画（案）」本体の方に対するご意見等でございます。 高林委員から意見をいただいております。「巻頭に大きな文字で簡潔に、富津市がめざしているものが記載されていてわかりやすいです。また、各基本施策の説明文にアンケート結果を補足説明として入れてあることで、きちんとアンケート結果を踏まえてくれているのだなというのが伝わってきました。施策内容に、第３回のディスカッションで出た意見が盛り込まれているのもいいと思います。」といただいております。 市の考えとしましては、「少しでも市民の方が富津市こども計画に興味を持ってもらえるように、やさしい版の作成に合わせて、本編の巻頭に概要を追加いたしました。 こども施策は、こども、若者、子育て当事者の声を聴くことが大切であり、アンケート結果を施策の説明に追加することで、「市に意見を伝えれば、富津市は何かしてくれるかもしれない」と市民の方に思っただければ、市に対して意見を伝えたいと思える方が増えることに繋がり、いただいたご意見が富津市のこども施策の拡充のきっかけやヒントになると考えております。」 続いて、齋藤委員からいただいております。「施策内容が具体的に表記されていてわかりやすかったです。前回の会議

発言者	発言内容
議長 (宮崎会長) 宗政委員	で、第Ⅱ期計画の策定の際に行ったパブリックコメントの回答数が少数だったとおっしゃっていたと思いますが、富津市こども計画を見てください!!ご意見ください!!のアピールを保育所・幼稚園、小・中学校、支援センターなどを通してなど、できるだけ多くの保護者さんにお知らせできたらよいと思いました。」といただいております。 市の考えは、「パブリックコメントについては、富津市こども計画への意見の募集だとわかりやすい表現で案内を作成し、市役所本庁、市民会館、市ホームページに加え、市内教育・保育施設等にも、掲示を依頼する予定です。」としております。 最後に4ページであります、「富津市こども計画（案）修正箇所」に対するご意見等といたしまして、高林委員からいただいております。「前回の会議から業務多忙な中、色々と見直して下さりありがとうございました。」といただいております。 資料の説明は以上であります、次回会議では、パブリックコメントでいただいた意見とそれに対する市の考え方をお示しする予定でございます。 ご審議のほどよろしくお願いいたします。 事務局からは以上です。 事務局の説明が終わりました。 ご意見、ご質疑等がございましたらお願いいたします。 前回の会議では、私の方が色々発言させていただいてますが、実はその中で、前回の会議では示さなかったけれども、「富津市こども計画（案）やさしい版」は、既に制作して下さっていたというところで、会議が終わりましてから、事

発言者	発言内容
議長 (宮崎会長)	事務局の方々とお話させていただく中で、見せていただいて、「これがあると知っていたら、私はまたちょっと違ったような形で発言していたと思います。」ということをお話させていただきました。大変失礼いたしました。 十分に市民の方や小さいこどもにも伝わるような形で作成を考えていらっしゃるということを前回の会議の直後に知ることとなりましたので、その点、申し訳ございませんでしたというところと、この短い期間で新たにボリュームアップして、文言の修正ですとか、SNS とかの付け加えというところを見直していただき、ありがとうございました。以上です。 他にございますか。
今井副会長	私は、「富津市こども計画（案）やさしい版」を見せていただいて、行政が市民やこどもの目線に近づいてくださっているなという思いを持ちました。 元々、私の幼稚園の保護者の方とかが、行政に相談すると、非常にスピーディーに対応してくださっていました。例えば、外国籍の方が妊娠するときに、健康づくり課ですぐに対応してくださったりだとか、ネグレクトについて相談をすると、すぐにその保護者のところに行って、話をしてくださるというような、色んな今のこどもたちに対して、行政が1人1人丁寧に扱っていただいていることがよくわかった上で、このものをさらに一歩進めていただいていることがよくわかりました。 一方で私が危惧するのは、例えば、今の0歳児が今年の12月時点で124人、1歳児が130人、2歳児が121人しかいない。20歳のお子さんは、市外に出ているお子さんもいるかも

発言者	発言内容
議長 (宮崎会長)	しれないですが、今現在は 349 人。もっと昔ですと、成人式に 500 人くらいのお子さんが富津公民館に集まっていた時代もありました。そういうふうに、こどもたちがどんどん減っている中で、丁寧にこどもたちを扱っていくってところも大事だけれども、やはり、このこどもたちをどういうふうに増やしていくかっていうところの視点というのも大事になってくる。それについては、多分、健康づくり課だけでなく、上位の計画に「富津市みらい構想」があるわけで、その中で行政として、民間との協働をしていただいたりだとか、それから、官民が連携して、事業に取り組むというような視点も含めて、少ないこどもたちをどういうふうを増やしていくかっていうところも市として、ぜひ考えていただきたいなと。それが私達、保育施設で働く職員が頑張っているけれども、働くところがなくなってしまうなんてことのないようにぜひお願いしたいなというふうに思っています。私の意見ということでよろしく願いいたします。 他にございますか。
オノミチ委員	短い期間でこのような形で提示していただいて、本当に感謝しかないなと思っています。ありがとうございます。 このようなものができた中で、その方法を今井副会長からお話がありましたけれども、これから異次元の段階に入っていくところを今後、行政や民間、保護者の 1 人 1 人がどのような形で富津市を支えていくか、こどもたちを支えていくかというところに今来ているんだろうなと思っております。この中で、このようなものができたことがすごいなと思っているのと、これを今後、どういうふうに 1 人 1 人がこう

発言者	発言内容
議長 (宮崎会長)	いうことを感じられるようなまちにしていくのかっていうことが行政の方だけで考えることではないし、ここにいる皆さん、保育所や小学校、色々な部署で関わっている人たちが本気で考えていかなければ、実現しないこと、厳しいことを言うかもしれないんですけど、このままでは本当にこどもたちの未来はないし、簡単にこどもが生まれたね、良かったねって言える時代じゃないっていうところに来てるっていうことを自覚しなくちゃいけないと日々、自分に何ができるかということを考えていきたいなと思っています。 「こども計画（案）やさしい版」の一番後ろに、富津市のこども計画をもっと知りたい！という二次元コードであったりとか、そこに入っていけるものがあるんですが、どうやって意見を集約していくとか、そういうところの組織をどういうふうにしていくか課題が多分生まれると思うんですけども、ここに入っていったらこどもが意見を述べられる、自分の思っていることが伝えられるというようなところがあると、こどもですから、ふざけたことが入ってきたりするかもしれないですが、本当に伝えたいことが伝えられるような窓口が少しでもできたらいいのかなって思うと、今携帯を持っているこどもも多いので、ここに1つ二次元コードがあることで、こどもがそこに入れば、自分の声がすぐに行政の方に届くというようなことが、何か紙を出さなきゃいけないとか、学校の先生に言いたくても、先生に言ってもしょうがないなって、日々思ってることがいっぱいあるんだと思うんです。拾いきれない部分を何かそういうものでできたらいいのかなっていうのを感じましたので、お話させていただきました。 他にございますか。

発言者	発言内容
木村委員	私は前回、賛成には手を挙げず、今回この資料を見させていただいて、私は、富津市ではなくて木更津市に住んでいるので、木更津市の子育てのことと比較させてもらったりもしました。先ほど、榎本委員のご意見にあったこどもが読みやすいようにふりがなであったり、小さなところにご配慮いただいたりとか、本当に簡潔的で、市民ではない立場として見させていただいたとき、とてもわかりやすく、他の業務でも大変な中でこういったことに取り組んでいただきありがとうございます。 あと、「富津市子育て応援ガイドブック」は、富津市のことをまだまだ知らないなので、毎年これをそばに置いて、何かあったときには、いつも参考にさせていただいています。また最新になっていく中で、こういうガイドブックは、市民ではないと知らないことがまだあるので、そういうのを活かすのと、「富津市こども計画」をもっと自分が熟読して覚えていくことで、今度は私達現場がこどもたちに、ただこれを見なさいじゃなくて、こういうところっていいんだよっていうのをどうやってこどもに伝えるかは、私達もこどもたちへの伝え方がまたあるので、そういうところをここから活かして伝えていけたらなと思います。それがこどもにも記憶に残って、将来に繋がればいいかなっていうのをこれを見て思いましたので、パブリックコメントや保護者の方から実際にご意見をいただいたりとか、何かそういう説明会の会場は、ご協力しますので、今後もこれがさらに良くなっていくことを願っています。本当ありがとうございます。以上です。
議長 (宮崎会長)	他にございますか。

発言者	発言内容
牧野委員	私は、木更津市から富津市にお嫁に来たというところで、行政さんとの最初の出会いが、こどもを産んでからで、今自分のこどもが大学生と高校生なので、「富津市応援ガイドブック」ができる前段階だったと思うんですけど、これを作る前段階として、専門の方や保育園の方が作っていて、作成途中段階のものをもらったので、最終的にこの形になったんだなっていうのが見れてとってもすごいなという感想が1つあります。 あと、妊娠のときから、保健師さんとかにお世話になっておりましたので、そういう人は積極的に市役所に相談できるんですけど、そうじゃなかったり、色んな人がいるので、こども計画ができたっていうところでもっともっと小さいうちから富津市に気持ちが行くっていうところでは、本当にこれ読ませていただいて、これからどうするかっていうところが楽しみになりました。 あと、こどもたちにわかりやすくする工夫の1個で思いついたことなんですけど、例えば、富津市の現状と課題というところで、こどもが少ないことが見てわかるように、1歳未満のこどもがこれだけしかいないとか、おじいちゃんおばあちゃんやみんなが見て、富津市の現状がわかりやすくというものが1個できると、色んな人たちに、「富津市ってこんなに赤ちゃんが少ないんだ。」っていう感じで見れるものがあるって、そうなってくるところから興味を持って、小さい子たちを盛り上げるのもいいと思うんですけど、取り巻くおじいちゃん、おばあちゃんだったり、私がやってる農家の色んな年齢の方たちが、やっぱり富津市に対して、興味を持ってから、「何とかしていこう富津市」という気持ちになる第一歩なのかなって思っているんで、私が農家をやっているんで、

発言者	発言内容
議長 (宮崎会長)	話が広がってしまいましたが、こういう会議に、富津市なので海苔を作ってる人がいたり、お米作ってる人がいたり、色々な業種の方たちが、この会議に来てくれて、そこに、こどもやおじいちゃん、おばあちゃんもいて、気さくに意見を言う会議の場があったら、なんか素敵だなんて思っています。以上です。 他にございますか。
鈴木委員	「富津市こども計画（案）やさしい版」の10ページで基本視点3の①こどもたちの自信を育む教育の土台作りの黒字のところなんですけれども「こどもにとって」となっているところは、「こどもにとって」ですかね。 また、非常に読みやすくなっていると思います。これを読んでいて、例えば①こどもたちの自信を育む教育の土台作りの下に文言があって、「富津市こども計画（案）やさしい版」と「富津市子育て応援ガイドブック」がリンクしていれば、具体的にはこういうことなんだねっていうのがわかると、もう少し読みやすいのかなといったところが感想です。煩雑になって、見にくくなってしまうこともあるかと思いますが、もし可能であれば、リンクしているとよりわかりやすいのかなという感想です。以上です。
議長 (宮崎会長)	他にございますか。
川島委員	施策の中には、教育委員会が受け持っている部分もございますので、体半分以上は事務局側にいるような感じで委員と

発言者	発言内容
議長 (宮崎会長) 棟方委員	ということで、ちょっとなかなか発言が難しかった部分もあるんですけども、教育委員会としては、学校教育の指針というものがございまして、その中で来年度の指針の中に、「富津市の未来に関心を持てる児童・生徒の育成」という文言を新たに付け加えようと思っております。こどもたちが富津市のことを知る中で、自分事として捉えて、「富津市の未来をどうしたらいいんだろうな、僕たちにできること何があるんだろうな。」っていうところに思いがいけるような教育を進めていきたいというふうに考えています。そういう意味でも、この「富津市こども計画」というのは大変貴重なものだなというふうに思っています。
	教育委員会としても、この「富津市こども計画」をこどもたちが目にして考えるきっかけにしていきたいなと思っておりますので、そういった部分でのこどもたちにわかってもらう工夫っていうものを、ともに今後していきたいなと思っております。「富津市子育て応援ガイドブック」は電子版がありますけれども、こどもたちに情報発信をする際に、1人1台の情報端末を活用したりだとか、保護者に対しては、連絡アプリを活用するなど、色んな方法があると思いますので、またやり方を協力しながらこどもたちにも、そして保護者の方たちにも、自分事として考えられるような通知の仕方をしていけたらなと思っております。ありがとうございました。
	他にございますか。 この資料が本当にこどもまんなかっという気持ちがとてもよく伝わる資料で、これからのこどもたちに説明していくことが

発言者	発言内容
議長 (宮崎会長)	ちはこどもに関することで動いているものですから、実際にこういうものがあって、こういうことを進めていかなくはいけないということをわかりながら仕事をさせてもらっているとは思っているんですけども、一般の方が実際にこれと一緒に考えるっていうような機会っていうのはどこにあるのかなっていうことを考えると、行政の方と一緒にこういうことについて語り合うような機会であったりとか、あとは前回の会議の中で、例えば、イオンモールで公開会議をしたり、会場を変えて発信するような機会を作っていただいたりだとか、出前講座にこども計画についてを説明する機会を設けていただけるといいのかなということを考えさせていただきました。 それでは、最後に私から一言だけお願いします。 今回のアンケートを踏まえた、「富津市こども計画（案）」、もしくは「富津市子育て応援ガイドブック」の配布の徹底をお願いしたいと思います。 なかなか富津市がいいものを作っているのは、私も行政に携わる立場として十分に理解をしております。ただ、これだけ時間をかけて作ったものですので、やはり１年、半年ぐらい経ったときに、「そういえばこれってどこにあったっけ。」という話にならないような状況をぜひともお願いしまして、まず、「富津市こども計画（案）」のサブタイトルについて決をとります。事務局より提案のありました２つの案のうち、どちらが良いか挙手をお願いします。案１「こどもの笑顔、子育ての喜びがあふれるまちを目指して」が良いと思う方は、挙手をお願いいたします。 （９名が挙手） 続いて、案２「次代を担うこども・若者を笑顔に」が良い

発言者	発言内容
事務局 (吉原こども家庭課長)	と思う方は、挙手 をお願いいたします。 (5 名が挙手) 案 1 の挙手が 9 名、案 2 の挙手が 5 名でございます。よって、案 1 の「こどもの笑顔、子育ての喜びがあふれるまちを目指して」にすることといたしますのでよろしくお願いいたします。 続いて、「富津市こども計画（案）」及び「富津市こども計画（案）やさしい版」について、事務局案のとおり、パブリックコメント案とするか、決をとりたいと思います。 「富津市こども計画（案）」及び「富津市こども計画（案）やさしい版」について、事務局案のとおり、パブリックコメント案とすることに賛成の方の挙手を求めます。 (全員が挙手) ありがとうございます。挙手全員です。よって、事務局案の通りパブリックコメント案とすることといたします。 皆様から貴重なご意見いただきましてありがとうございます。只今の決をもちまして、パブリックコメントを実施させていただきますので、それにつきまして、今後のスケジュールをご説明させていただきます。 2 月 21 日に富津市議会の全員協議会でパブリックコメントを行うことを議員の皆様にご説明いたします。それが終了しましたら、2 月 22 日から 3 月 19 日までパブリックコメントを実施いたします。その後、3 月 28 日を予定しておりますが、第 6 回子ども・子育て会議におきまして、パブリックコメントの結果を委員の皆様方にご説明して、「富津市こども計画」をご審議いただき、決定というようなスケジュールでいきたいと思っておりますので、ご承知おきいただければと思います。よろしくお願いいたします。以上です。

発言者	発言内容
議長 (宮崎会長)	＜次第４ 議題（２）＞ 続いて議題２に移りたいと思います。 「富津市市立保育所再配置計画の改定骨子（案）について」を議題といたします。 事務局の説明を求めます。
事務局 (國吉施設管理係長)	それでは、議題（２）「富津市市立保育所再配置計画の改定骨子（案）について」ご説明いたします。 現在、富津市市立保育所再配置計画に定める取り組みの見直しを進めておりまして、昨年１２月開催の第４回子ども・子育て会議において、現計画に定める金谷保育所の取り組み内容を令和７年度末をもって廃止することに見直し、入所児童保護者及び金谷地区区長から合意を得られたことをご説明申し上げます。 その後、金谷保育所以外の保育所入所児童保護者との意見交換会を順次開催し、各保育所の取り組み内容の見直しに対していただいたご意見を踏まえ、この度、市内全ての市立保育所に係る再配置の取り組み方針等を取りまとめましたので、ご説明させていただき、委員の皆様からご意見等を伺いたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。 それでは、資料３「富津市市立保育所再配置計画の改定骨子（案）について」１ページ目をご覧いただきたいと思います。 初めに「１ 改訂趣旨」についてです。 こちらは市立保育所再配置計画の改定に至った経緯等の内容となります。富津市市立保育所の再配置については、令和４年３月に富津市市立保育所再配置計画を策定し、基本方針、基本的な方向性、各地区における具体的な再配置の姿などを

発言者	発言内容
	示しているところです。再配置の取り組みを進めるにあたり、現計画の定めに基づき、市立保育所の入所児童保護者への説明、意見聴取を行ったところ、現計画における取り組み内容と、当該保護者が求める内容に乖離があったことから、適切な再配置を実施するため、改めて、現状及び近い将来に見込まれる状況を踏まえ、現計画を改定することとしました。 次に課題についてになります。 現計画と同様に、現状及び近い将来における課題としまして①入所児童数の減少により適切な保育環境の維持が見込まれない。②保育士確保が困難なことにより、適切な保育環境の維持が見込まれない。③施設規模と入所児童数との間に不均衡が生じており、施設の効率的な運営が見込まれない。以上3点が挙げられます。下の表につきましては、令和7年1月1日現在の市立保育所における入所児童数の状況となっております。 2ページ目の上段の表につきましては、市立保育所の定員充足率となっております。 続いて「3 今後の入所児童見込数」は、市内児童数についてになります。現時点での市の推計となっております。人数につきましては推計値でありまして、必ずしも一致するものではありませんけれども、傾向といたしましては、表に示した見通しとなっております。 なお、竹岡保育所につきましては令和8年末以降の見込み数については金谷保育所が存続した場合に見込まれる児童数、括弧内数値と合算したものとなっております。 続いて「4 改訂後の再配置に係る取組方針」についてになります。こちらは再配置に取り組むに当たっての方針となります。まず、①保護者の選択肢および児童の受け皿確保のため、各地区（富津地区・大佐和地区・天羽地区）に市立保

発言者	発言内容
	育所を残すものとする。②適切な保育環境を整備するため、入所児童数の確保が見込めるものとする。③小学校の再配置及び市立保育所の立地状況を勘案するものとする。④再配置は廃止集約により行うものとし、民間移管の検討は凍結するものとする。⑤児童の健全な心身の発達には、児童同士の育ち合いも大切な要素であり、各年齢の児童がいる保育環境が望ましいことから、小規模保育所は設置しないものとする。⑥再配置後に通所する市立保育所への送迎方法は、現入所児童保護者からの意見を踏まえ決定するものとする。 続いて「5 入所児童数の最低基準」についてになります。こちらと同じく再配置に取り組むに当たっての内容となります。まず、①3歳以上児、こちらは1クラス5人程度②入所児童数20人程度、この基準につきましては、現に保育現場を担っている保育所職員の実態を踏まえた意見が重要であることから、全ての保育所長と一緒に検討し、こどもたちにとって適切な保育を提供できる基準として考えたものとなります。 続いて「6 改定後の具体的な再配置」についてになります。只今、入所児童の最低基準をご説明させていただきましたが、こちらでは、実際に入所児童数がどのような状況に至ったら、再配置を実施するのかを定めておりまして、保育所の存続廃止を明記しております。再配置の実施については、後年度において原則3年間連続して、入所児童数が18人を下回ることが見込まれるとの判断に至った場合には、当該判断をした年度の次の年度から起算して3年以内に廃止するものとする。各地区における改定後の具体的な再配置については、次の下の行からなります。（1）富津地区については、飯野保育所は富津地区における唯一の市立保育所であり、存続させる。（2）大佐和地区については、①吉野保育所は入所児

発言者	発言内容
	童数の最低基準を満たすことが見込めるため存続させ、佐貫保育所の集約先とする。②佐貫保育所は廃止する。 (3) 天羽地区については、①中央保育所は入所児童数の最低基準を満たすことが見込めるため存続させ、峰上保育所の集約先とする。②竹岡保育所は金谷保育所の集約先とする。ことで、入所児童数の最低基準を概ね満たすことが見込めるため存続させる。 4ページをお願いします。 ③金谷保育所は廃止する。④峰上保育所は廃止する。⑤小学校の再配置を踏まえ、竹岡保育所が廃止要件に該当することとなった場合には、中央保育所を集約先とする。以上が各地区における具体的な再配置の内容となります。 次に「7 再配置の実施年度」についてになります。只今、ご説明させていただきました入所児童数等の原則により、廃止年度を定めたものになります。まず、①令和7年度末をもって廃止、金谷保育所、②令和9年度末をもって廃止、佐貫保育所及び峰上保育所。なお、金谷保育所につきましては第4回子ども・子育て会議において、ご説明申し上げましたが、こちらの立地条件としまして、津波および高潮の浸水想定エリア内に立地していることから、早急に他の場所で保育をする必要があることから、入所児童保護者との意見交換を重ねた上で、廃止年度を令和7年度末に定めたところでございます。 次に「8 現計画からの主な改定内容」になります。 こちらは保育所ごとに現計画に記載している内容と改定の方針を対比している表になります。 まず、飯野保育所については、現計画では民間移管を検討ということで計画しておりましたが、改定後の方針といたしましては、市立保育所として存続させるということとしてお

発言者	発言内容
	ります。吉野保育所も同様に、民間移管を検討しておりましたけれども、市立保育所として存続させることとしました。 次に、佐貫保育所ですがこちらは3歳以上児と3歳未満児とで保育の場所を分けるような計画になっておりましたけれども、そちらを見直しまして佐貫保育所を廃止いたしまして、集約先を吉野保育所とし、小規模保育所は設置しないということに見直しております。 中央保育所、こちらでも民間移管を検討として計画しておりましたが、見直し後、市立保育所として存続させることとしました。 次に、竹岡保育所、こちらでも佐貫保育所と同様に3歳以上児と3歳未満児とで保育の場所を分けるような計画としていましたが、こちらを見直しまして、市立保育所として存続させることとしました。但し、廃止要件に該当することになった場合には、中央保育所へ集約することとしております。小規模保育所の方は設置しないということとしました。 金谷保育所、こちらでも竹岡と同様に3歳以上児と3歳未満児とで保育の場所を分ける計画としておりましたが、金谷保育所につきましては、令和7年度末をもって廃止しまして、集約先を竹岡保育所とすることとしました。同様に小規模保育所の方は設置しないということに見直しております。 最後に、峰上保育所になります。こちらでも同様に3歳以上児と3歳未満児とで保育の場所を分ける計画としておりましたが、令和9年度末をもって峰上保育所を廃止いたしまして、集約先を中央保育所とすることとしました。同様に、小規模保育所の方は設置しないというふうに見直しております。 資料についての説明は以上となりますが、再配置計画改定に係る今後のスケジュールについて申し上げます。現在この改定骨子（案）について、各市立保育所の入所児童保護者へ

発言者	発言内容
議長 (宮崎会長)	の説明、意見交換会を実施しているところであり、３月１日までに全保育所への説明を終える予定となっております。 また、並行いたしまして、各保育所の所在する地区への説明を３月末までに行う予定としております。市議会に対しましては３月２５日開催予定の市議会全員協議会にて説明、承認をいただきまして、来年度、令和７年度の１２月までに再配置計画の改訂版を策定する予定としております。以上で説明を終わります。忌憚のないご意見等をよろしく願います。 事務局の説明が終わりました。 ご意見、ご質疑等がございましたら願います。
齋藤委員	先日、私達の保育所にも再配置計画の説明がありました。やはり、保護者の方から保育所がなくなって欲しくないという思いをたくさん聞きました。しかし、適切な保育環境とか、保育士さんの確保困難とか、再配置の必要性も理解はできます。再配置は、今すぐではないですけど、保護者の方がなくなってしまうかもしれないという不安が頭の片隅に離れなくて、今年は大丈夫かなって毎年そういう思いをしながら過ごすことになってしまうのかなと感じました。 保護者の方が安心できるよう、また知らないってということがないように、こまめに現状の説明をしていただけるといいかなと思いました。
議長 (宮崎会長)	<次第５ その他> 他にございますか。 ないようでしたら、次第５ その他に移らせていただきます。委員の皆様から何かございますか。

発言者	発言内容
宗政委員	令和4年度から富津市子ども・子育て会議の委員を拝命いたしまして3年間、委員として、この席で座らせていただき、考えですとか、意見を述べさせていただいたのですけれども、私、令和6年度をもちまして、今、現任校であります清和大学短期大学部を任期満了の退任をすることになりました。本当に3年間ありがとうございました。 私の専門は、社会福祉でありまして、バックグラウンドが社会福祉士でございます。特に、社会福祉の貧困問題ですとか、社会保障、それから、こども、あと地域福祉というところが主に研究の対象となっております。そのような視点から、単純なこどもというだけにとどまらずに、色々な角度からのご意見の方を差し出がましく申し上げたこともございましたけれども、私の意見だけではなく、委員の他の先生方、皆さんの思いというのを拾ってくださって、生かしてくださって、反映してくださる富津市の行政の皆様には、本当にこの3年間で行政のあり方といいますか、市役所のあり方の正しい対応って言いますか、そういうところをすごく肌で感じながら過ごさせていただきました。ありがとうございます。 昨年、私がテキストを執筆する関係から、地域の中の子育て支援という章で、富津市のことを取り上げたいということをお願いしましたら、すぐに吉原こども家庭課長と渡辺保育係長の方で動いてくださいまして、地域交流支援センター「カナリエ」を紹介してくださいまして、棟方委員から、具体的な現場の実際を見させていただき、それを学生に授業の中で、1つの富津市の事例ということではありますけれども、そのテキストを用いて、全国の保育士養成校の中で使われております。 私は、このような機会をいただきましたから、行政の皆様

発言者	発言内容
	の姿勢ですとか、心というか、気持ちとかっていうものをつぶさに感じることができましたけれども、やはり同じような研究テーマを持ちながらも、なかなかこのポジションに就くことがない研究者がたくさんおりますので、もっと官民学協同で地域社会のことを1つ1つ取り上げられるようになっていかないと、先ほど今井副会長とオノミチ委員からもありましたけれど、今後この地域社会全体の課題が残ったままになってしまうなというところで、危惧をしております。 3年の任期というものは、私は、あらかじめわかっておりましたので、できれば持続可能な富津市がもっともっと人口が増えるような形で何かお手伝いできたらいいなと思っておりましたけれども、時間が経つのがあっという間で、なかなかそこまで議論を深めることができなかったのかなと思いますけれども、次年度、令和7年度からは、また別の地域で保育士と社会福祉士の養成に携わることになっておりますので、また地域を越えまして、地域間の連携ですとか、地域再生というところのなにかコミットさせていただけたら、ありがたいなというふうに感じております。それから、現場の先生方が本学の学生のために、保育士養成というところでいつもご尽力いただいて、ありがとうございます。残念ながら、本学が置かれている状況といいますのは、ここの先ほどの説明もありましたけど、保育士の確保が難しいという富津市の課題のさらに上をいきまして、学生の確保が難しく、保育士養成の学校であることが存続できるかどうかの状態になっております。したがって、先日、イオンモール富津の渡瀬委員にもご協力いただいたのですが、これから先、社会人入試ですとか、あとは今仕事に就いているけれども、実は合っていないなというような方、ハローワークの事業で無料で保育士の資格が取れるという制度がございまして、新卒の高

発言者	発言内容
議長 (宮崎会長)	校生だけではなく、大人が保育士として、地域で根ざしていくっていうのかな、住みながら、保育士を確保してというようなところに来てる状態にございます。
	今動かないと、20年後、本当にこどもが0の事態になってしまうので、ちょっと少しずつ下がっていて、動くなら、今しかないのかなというふうに私の方が思っておりますし、おそらくいろんな現場の先生方もそういう思いで業務に当たられ、そして、目の前のこどもの目の前の保護者さんと対峙されてるのかなというふうに思います。
	子育てがしやすいまち作りというのが、まず持続可能な社会の第一歩だというふうに私は思っておりますので、私はこの任から離れますけれども、引き続き、どこかでといいますか、色々なところで協力させていただけたらと思いますので、どうぞ今後ともよろしくお願いします。3年間ありがとうございました。
	他にございますか。 ないようでしたら、事務局から何かございますか。
事務局 (小野田健康福祉部長)	それでは、本日は、この計画について、ご承認また市立保育所の再配置見直しについてもご理解いただきまして誠にありがとうございました。 前回、「富津市こども計画」が承認されませんでしたけれども、そのことをもって、日頃から市長もおっしゃっているのが、市民にとって市がやっている事業を知っていただく、理解していただくということを言っているわけですが、その前に皆さんのご意見のように、こういう計画を作っても、手に取って見ていただけないということであれば、その後の知っていただく、理解していただくのも当然繋がらないこと

発言者	発言内容
議長 (宮崎会長)	だということで、改めて、私も含め職員も気づかせていただいたなというふうに思っています。その後、おかげで、前回より良いものができたのではないかなというふうに感じております。本当に皆様のご意見がありがたいものだというふうに思ってますので、感謝申し上げます。 今後は、このせっかく作った計画が作っただけで終わることのないように、また副題で選んでいただきました「こどもの笑顔、子育ての喜びがあふれるまちを目指す。」ということで、推進して参りたいと思っております。 また、委員の皆様方におきましても、それぞれの立場で、またそれぞれの場面で、子育てのご理解お力添えをいただけると、こちらとしても大変心強く思いますので、引き続き、皆様のご協力、ご理解をお願いしたいと思います。以上です。ありがとうございました。 ＜次第6 閉会＞ 他に事務局からございますか。 ないようですので、以上をもちまして、令和6年度第5回富津市子ども・子育て会議を閉会いたします。委員の皆様におかれましては、長時間にわたりご審議、ご意見いただきましてありがとうございました。